

国民健康保険からのお知らせ

平成29年度 国民健康保険事業の決算をお知らせします

問い合わせ 国保年金課 国保年金係(☎内線311)

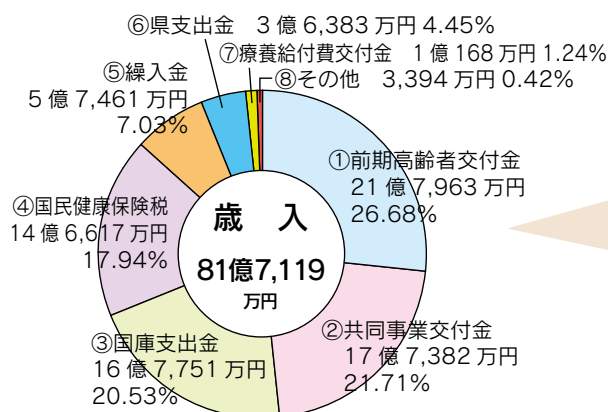
国保財政の仕組み

国民健康保険は、市の一般会計とは別の独立した「国民健康保険事業特別会計」で経理を行っています。収入は、被保険者の皆さんが納める国民健康保険税や、国・県などからの補助金・交付金がほとんどを占めており、支出は、保険給付費(医療費などの給付)が約58%を占めています。

国民健康保険事業の決算

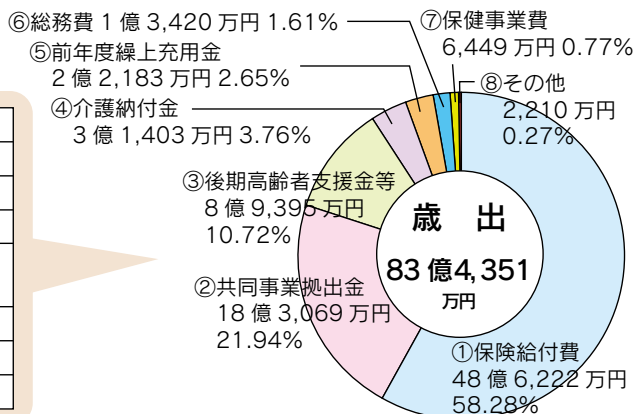
市の国民健康保険事業特別会計の平成29年度決算では、歳入81億7,119万円、歳出83億4,351万円で、収支の差し引きでは約1億7,232万円の赤字となりましたが、前年度繰上充用金(前年度歳入不足分の補てん)約2億2,183万円を差し引いた単年度実質収支では約4,951万円の黒字となりました。

歳入・歳出の状況



①前期高齢者交付金	前期高齢者(65歳以上75歳未満)にかかる医療費の不均衡を調整する交付金
②共同事業交付金	医療費水準に応じた交付金
③国庫支出金	国からの補助金
④国民健康保険税	国保加入者が納めた保険税
⑤繰入金	一般会計からの繰入金
⑥県支出金	福岡県からの補助金
⑦療養給付費交付金	退職者医療にかかる交付金
⑧その他	延滞金やその他雑入

①保険給付費	国保加入者の医療費などの支払
②共同事業拠出金	医療費水準に応じた拠出金
③後期高齢者支援金等	後期高齢者医療制度にかかる支援金
④介護納付金	介護保険にかかる納付金
⑤前年度繰上充用金	前年度歳入不足に対する、翌年度歳入からの補てん
⑥総務費	国民健康保険事業運営にかかる経費
⑦保健事業費	特定健診や医療費適正化にかかる経費
⑧その他	償還金や還付加算金など



一人当たりの医療費

平成29年度の太宰府市国保における一人当たりの医療費は365,148円となり、前年度より1,965円増加しました。

国民健康保険の加入状況

平成29年度の被保険者数は年間平均で15,902人となり、前年度より703人減少しました。75歳到達により、708人が国保から後期高齢者医療制度に移行したことが主な要因です。なお、本市の人口に占める国保の加入割合は22.18%で、約4.5人に1人が国保に加入している状況です。

被保険者(市民)の皆さんへのお願い

医療・介護費の増加は、将来的な保険税の上昇や自己負担の拡大という形で、被保険者の皆さん一人一人の負担を増やす恐れがあります。一人一人が健康に関心を持ち、適度な運動、生活習慣の改善など無理なくできる健康づくりに取り組むとともに、年に1度、特定健診を受診し、自分自身のからだについて理解を深めることが大切です。